



イノスマンスリー

INOS Monthly

知って得する！ 住まいの場所別お手入れ法

No 22

学習机、本箱

* キレイに長持ちさせたい学習机や本箱

普通の学習机や本棚の手入れは化学雑巾や化学ばたきをかけ、ホコリをこまめに落とす程度で大丈夫です。

* 年に3度は念入りな手入れを

学年の変わり目や学期の始まる前は、子供と一緒に学習机や本箱を手入れしましょう。住居用洗剤液で固くしぼった雑巾で拭き、そのあと水拭きしておきます。ただし材質によっては注意が必要です。机や本箱の引出しの中はすべて取りだして整頓し、底にキレイな敷紙を敷くと次の掃除がラクです。机の上に付属している本棚、蛍光灯や電気コード、鉛筆立てなどの小物入れも忘れずに。

本棚などに貼られたシールには酢を使います。コットンに酢をしみこませて、シールの上にくっつけます。数分おくときれいにはがせます。

【ワンポイント】学習机や本箱の後ろ棚、壁、床のホコリは掃除機で吸い取り、水拭き、カラ拭きで仕上げる。

* 本箱の整理整頓と手入れ

まず、不必要な本は処分してスッキリさせます。本はホコリをためやすく、長く放っておくとカビやダニを発生させるので、机掃除のときに本箱も合わせて手入れすることをおすすめします。

まず本箱の本をすべて取り出し、掃除機で中のホコリを吸い取り、洗剤つきの雑巾で拭いたあとカラ拭きして乾かします。本箱から出した本は虫干ししたあと1冊ずつ化学雑巾でホコリをはらってから元に戻しますが、その際本箱の中に防虫剤を入れておきます。前面がガラスの本箱は、ガラスクリーナーで汚れを落とすか、新聞紙に水を浸してガラスを拭き、乾いた新聞紙でカラ拭きするとキレイになります。

【ワンポイント】本棚、本箱に並べる本は同じ高さで揃えるとよい。段差があるとホコリがたまりやすくなる。



ピアノ、エレクトーン

* 直射日光と湿気に注意

ピアノやエレクトーンはていねいに扱い、手入れ方法を間違わないことが傷みを防ぎ、長持ちさせるポイントです。まず設置場所は直射日光の当たらない所が鉄則です。窓のそばに置いたときは必ず厚手のカーテンや遮光カーテンで日光を遮ります。また、ピアノなどは天然材を使っているため、温度や湿度が極端だとひび割れやそりの原因になるので注意が必要です。最適環境は15度~20度、湿度60%程度です。梅雨時は室内を除湿するなどの気配りを忘れずに。

* ホコリをはらい、カラ拭きして美しさを保つ

ピアノもエレクトーンも普段の手入れは、羽根ぼうきややわらかい布でホコリを取る程度で十分です。演奏後には、鍵盤や蓋をそのつどやわらかい布でカラ拭きするよう、使う人が習慣づけるとよいでしょう。手アカなどの汚れが目立つ箇所は、水で固くしぼったタオルで拭き取り、カラ拭きして湿り気をのこさないのがコツ。アルコールやシンナーは汚れが落ちますが、鍵盤を傷めるので使わないほうが賢明です。

* ピアノを磨くときのポイント

普段はカラ拭きでOKですが、3カ月に1回程度は磨きたいものです。ピアノの塗装は大きく分けると3つありますが、塗装に合った磨き方をします。鏡面ツヤ出し塗料は専用クリーナーで磨きます。ナチュラル半ツヤ出し塗装は、やわらかい布に専用のワックスをつけて磨きます。オイル仕上げはカラ拭きだけです。

【ワンポイント】ピアノは使っても長い間には音が微妙に狂ってくる。年に1回、専門家に調律を依頼するのがベスト。



『住まいのお手入れハンドブック』（PHP研究所）より

『住まいのお手入れハンドブック』発・お役立ち情報、次号もお楽しみ

全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ



株式会社 田中工務店

本社 京都府舞鶴市倉谷1016番地
〒624-0906 TEL0773<75>2227(代)
FAX0773<77>1667

☎ 0120-185-750